

学校教育目標

未来に向かって 心豊かにたくましく 自ら学ぶ生徒の育成

# 学校だより「この丘に」

発行：仙台市立南中山中学校  
令和3年11月26日

校長 岩倉 一治  
生徒数 552名(令和3年11月26日現在)  
〒981-3213 仙台市泉区南中山 2-26-1  
TEL 022-376-3127 FAX 022-348-2358  
URL <http://www.sendaic.ed.jp/~emuchu-x/>  
e-mail [emuchu-x@sendai-c.ed.jp](mailto:emuchu-x@sendai-c.ed.jp)

## ◇ 失敗から学ぶこと ◇

校長 岩倉 一治

先日ある本を読んでいたら、2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞された京都大学の山中伸弥教授の話が出ていました。その中に、「失敗すればするほど幸運は来る。若い間にいっぱい失敗して挫折してください。」という言葉がありました。ある講演会で、若い人たちに向けて伝えた言葉だそうです。同感です。

社会では、時として失敗の許されない場面があります。一つの失敗で多くの人に迷惑をかけ、取り返しのつかないことになることがあります。山中さんによれば、このような場面で確実に遂行するための一番よい方法は、準備の段階でどれだけ多くの失敗をしておくかということです。そして、そこから学び、少しずつ改善していくことです。たくさんの挫折から学んだ知恵が、大事な場面を乗り越えるための力になっていくのです。

失敗を他のせいにし、物にあたり、責任を押しつけてしまっただけでは、大切な知恵は得られません。誰にだって、失敗することはあります。失敗を恐れず、もし失敗しても、そこから自分の課題を見付け、さらに成長していくための知恵を得ること、それが私たちには必要なのではないのでしょうか。

折しも、先月2021年のノーベル賞受賞者が発表されました。「人類に最も大きな貢献をした人」の言葉が、これからの私たちの生き方に示唆を与えてくれているように感じます。

## おしらせ

### ○ “総文の木の实” 開催中

総合文化部による作品展示発表を行っています。日頃の活動の成果として、木工室前、美術室前、2階東階段前に絵画やハーバリウム、ミニチュア作品が展示されています。ご来校の際には、ぜひご覧いただきたいと思っております。



### ○ 登下校の安全を願って

本校では、交通安全に関する試験や自転車点検を経て許可された自転車通学の生徒がいます。最近、地域の方から生徒の自転車の乗り方について心配の声が寄せられています。中には、スピードの出し過ぎ、信号無視、横列走行、ノーヘル運転などが見受けられるようで残念です。このことは自転車に限らず、徒歩でも同様、日頃から安全について考えて行動することが求められていることに他なりません。ご家庭で登下校等の安全について話題にいただければ幸いです。

### ○ 教育相談を通して学校と家庭の連携強化を

生徒の学校生活における学習、生活、進路について担任と生徒、保護者の皆様と話し合いをする時間をいただきました。生徒一人一人の充実した学校生活につながるよう、また次年度に向けた準備が進められることを期待しています。お忙しい中、お時間をいただきました保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

### ○ 2年ぶりの合唱コンクール開催！

11月24日(水)広瀬文化センターを会場に校内合唱コンクールを2年ぶりに開催することができました。当日は多くの保護者の皆様に参観していただきありがとうございました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、さまざまな制限下での実施となり、学年毎に入れ替え制にしたり、消毒作業を徹底したりとご心配をおかけしたことと思います。日頃の子供たちの練習の成果を披露することができ、うれしい一日となりました。ご協力ありがとうございました。

校内合唱コンクール

# おめでとう



## ○校内合唱コンクール

- < 1 学年 > 最優秀賞 5組「unlimited」  
 優秀賞 4組「大切なもの」  
 優良賞 2組「Let's Search For Tomorrow」  
 指揮者賞  
 伴奏者賞
- < 2 学年 > 最優秀賞 4組「生きている証」  
 優秀賞 2組「いのちの歌」  
 優良賞 3組「君とみた海」  
 指揮者賞  
 伴奏者賞
- < 3 学年 > 最優秀賞 5組「虹」  
 優秀賞 1組「走る川」  
 優良賞 4組「はじまり」  
 指揮者賞  
 伴奏者賞

## ○ソフトボール部

第 39 回宮城県中学校新人ソフトボール大会 第 3 位  
 仙台市中学校新人大会ソフトボール競技 第 3 位

## ○バスケットボール部

仙台市優秀選手

## ○第 59 回中学生作文コンクール

都道府県別賞 宮城県佳作

## ○第 60 回宮城県造形教育作品展

特選  
 特選



12月の学校行事予定です。今後の状況により変更する場合があります。

日	曜	予 定
1	水	3年面談～12月3日(金)
3	金	2学年職業講話
7	火	校内研究会のため部活中止
10	金	GIGA スクール端末活用研修のため部活中止
13	月	専門委員会
15	水	職員会議のため部活中止
16	木	2年科学館学習
17	金	中央委員会
20	月	会議のため部活中止
21	火	校内研究会のため部活中止
22	水	弁当
23	木	休業前全校集会 弁当
24	金	冬季休業～1月7日(金)
29	水	～1月3日(月)学校閉庁
<b>1月の主な行事予定</b>		
11日(火)	1・2・3年実力テスト 休業後全校集会	
12日(水)	私立高校推薦入試	
13日(木)	新入生保護者説明会	
17日(月)	会議のため部活中止	
22日(土)	奨励服採寸日	
24日(月)	職員会議のため部活中止	
26日(水)	会議のため部活中止 奨励服採寸予備日	
31日(月)	1年天文台学習	

### ～ 中学教師として思うこと ～

保護者の皆様は、生徒指導という言葉からどのようなことを想像されるでしょうか。生活に伴うしつけに関することや何か問題となる行動があったときの教師からの指導等のことを思う方がいるかもしれません。それらは生徒指導の消極的な一面です。

では生徒指導の積極的な面とはどのようなことなのでしょう。

生徒指導とは、一人一人の生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動のことです。そして一人一人の生徒の健全な成長を促し、生徒自ら現在及び将来における自己実現を図っていくための自己指導能力の育成を目指すことが生徒指導の積極的な意義です。

自己指導能力を育てていくのは、学習の場を含む学校生活のあらゆる場や機会です。教育という言葉は、「大人が子供を教育する」というように、大人が主語で子供が目的語になる形で用いられることが一般的です。生徒指導についても、そうした側面を有するものです。しかし人格の完成については、「生徒が大人になる」というように、生徒が主体となる形で行われていく必要があるのです。もちろんあらゆる行動を一から生徒に決めさせていく事は不可能です。しかし指導の中で、生徒が主体的に取り組めるような配慮を行うことで、自発性や自主性、自律性が育まれるようにしていくことは可能です。

本校では、生徒が主体的に学びに向かう力、主体的に諸活動に取り組む力を高めていけるよう、あらゆる場面を機に、自分で考え、判断し、責任ある行動をとることを大事にしていきたいと思えます。